



ミライの磁気探知器

取扱説明書

マクネットアッター



ミライの磁気探知器

マクネットアッター（ BUT-G ）を
お買い上げいただきありがとうございます。
ございます。

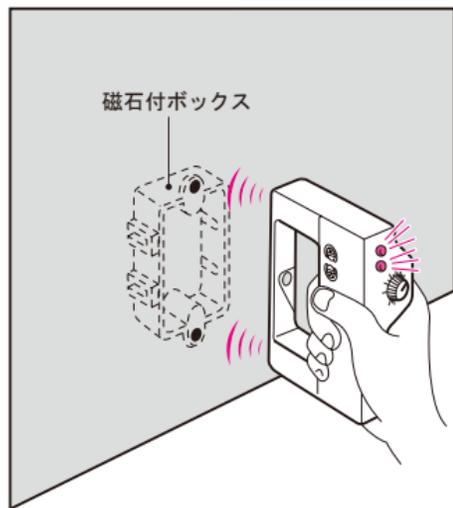
使用説明をよく読み正しい使い方でご使用下さい。尚、この使用説明以外にご使用になられた場合は、製品の性能について責任を負うことはできません。

保管用

MIRAI
未来工業株式会社

SM2090

■ こんな場合にご使用下さい (磁石付ボックスの探知にご使用下さい)



- ラス壁、軽量形鋼、断熱材（アルミ箔付）等が使用されている場所でのボックス（磁石付）探知に最適です。磁石だけを探知しますから、誤探知がありません。

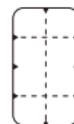
⚠ 注意

- 分解しないで下さい。
- 電池を火中に入れて下さい。
- お子様の手の届かない場所に保管して下さい。

センター表示の見方



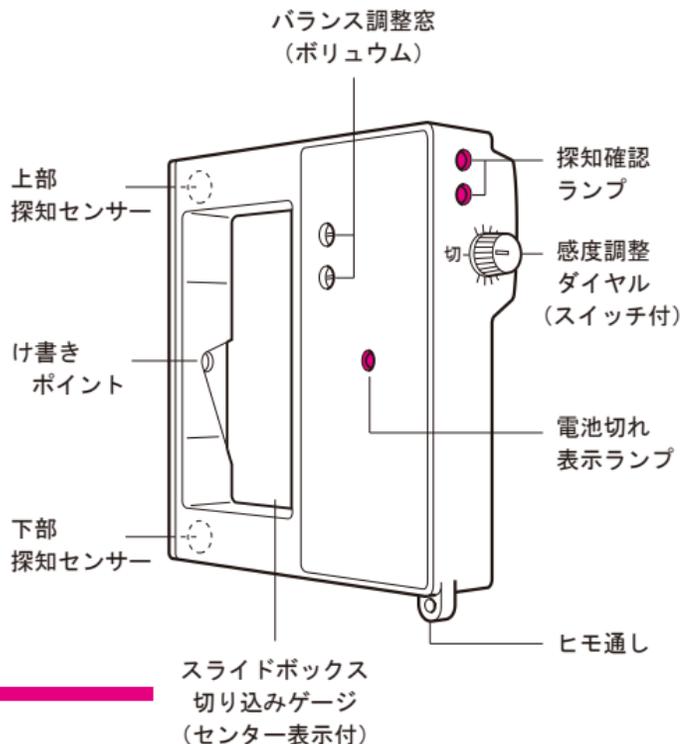
ボックス
センター表示



ホルソー
センター表示



■各部名称



■仕様

●電源

9V乾電池(S-006P/9V)

●探知できるもの 磁石(N極側)

●探知距離

●当社磁石付

スライドボックス……35

●当社ボックス発見用

磁石(アッター)………35

●使用制限

●木造家屋

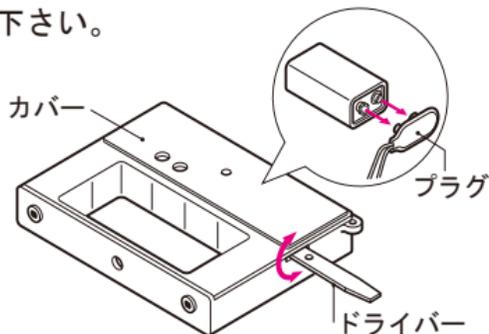
磁石付スライドボックスを使用

●軽量形鋼・鉄骨構造

アッター(ボックス発見用磁石)を使用

■ご使用方法(準備)

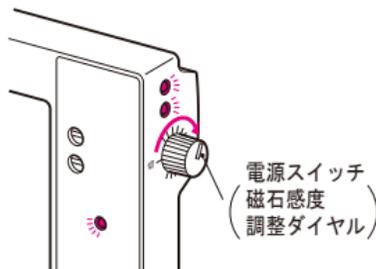
- ①探知器カバーを付属のドライバーで外し、乾電池をプラグに接続して所定の位置にセットし、カバーを閉めて下さい。



(カバーを閉じる時は、電池切れ表示ランプが所定の窓にくるよう注意して下さい。)

- ②ダイヤルを時計方向に回しスイッチを入れます。

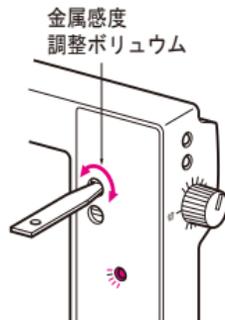
(電池切れ表示ランプ
探知確認ランプが点
灯します。)



- ③マグネットアッター探知面を**使用方向**に向け探知確認ランプが消えるまでダイヤルを時計方向に**ゆっくり**回します。

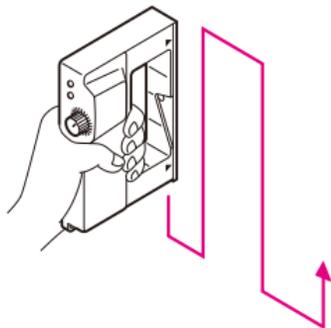
- ④上下のランプが消えたら、ダイヤルを止めて下さい。

- ⑤上下のランプが同時に消えない場合は、ボリュームを回し**ランプが同時に消えるよう**に、バランス調整をして下さい。(これで準備OKです)



(探知要領)

(d)探知面を壁面に向け、上下左右に動かし探索して下さい。



(e)磁気を探知するとランプが点灯します。

●探知確認ランプ

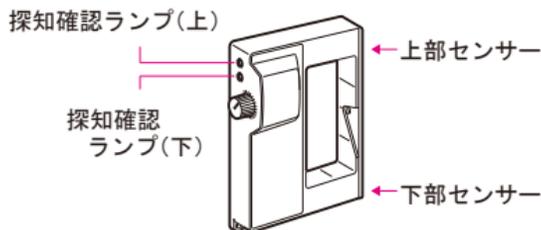
(上)が点灯……上部センサーで感知

●探知確認ランプ

(下)が点灯……下部センサーで感知

●探知確認ランプ

(上下)とも点灯…上下センサーで感知



ご注意

●鉄筋の曲げ、溶接箇所では磁気が発生し、誤動作する可能性があります。このような箇所では、予め感度を下げてください。

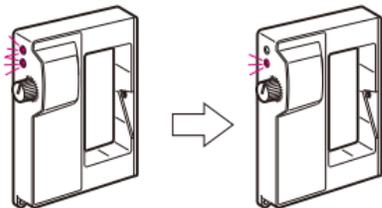
■ボリュウム調整(バランス調整)

常温(約20℃)でボリュウムがセットされていますが、使用場所の温度によって感度が変わり、正しい動作をしないことがありますので次の方法でボリュウム調整を行って下さい。

※調整は一定方向で、必ず探知器カバーを閉めたまま行って下さい。

ランプ点灯が上下同時でない場合

①上下どちらかのランプが**丁度消える位置**までダイヤルを回し、止めて下さい。



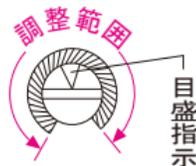
②次に、ランプが点灯している側のバランス調整ボリュウムを付属のドライバーで**ゆっくり**右へ回し、点灯しているランプが**丁度消える位置**で止めて下さい。



上部ボリュウム
(上部センサー・
ランプに連動)

下部ボリュウム
(下部センサー・
ランプに連動)

③ボリュウム調整は必ず目盛指示を**調整範囲**内で行って下さい。



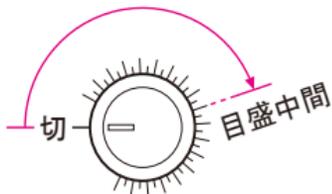
④これで調整完了です。2つのランプが同時に点灯するか確認して下さい。

(感度調整)

■電池の交換

感度が大巾にズれている場合

- ①ダイヤルを「切」の位置から、目盛りの間まで回して下さい。



- ②次に上下のバランス調整ボリュームを左右に回し、上下のランプが**丁度その位置で消えるよう**調整します。

(ランプが点灯している場合はボリュームを右へ、消えている場合は左へ回して下さい。)

- ③これで調整完了です。2つのランプが同時に点灯するか確認して下さい。

スイッチを入れると電池切れ表示ランプが点灯します。

電池切れ表示ランプは電池容量が有る間は点灯しますが、容量が少なくなるとランプが薄れ、やがて消えます。

電池切れ表示ランプが薄れてきたら、そろそろ電池切れですから、新しい電池と入れ換えて下さい。



■木造家屋での使用方法

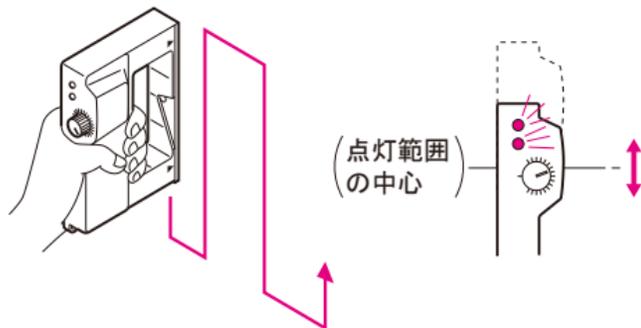
磁石付スライドボックスをご使用下さい。



- ①探知器を探知壁面の方向に向け、使用方法（準備）に従ってダイヤルをセットして下さい。

- ②ランプが消えたら、消えた位置より1目盛多く回して止めて下さい。

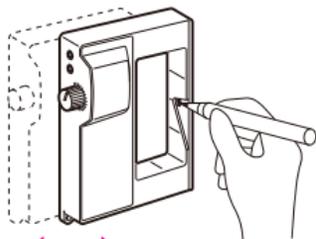
- ③先ず、探知器で壁面を探索し、大まかなボックス位置を把握し、上下のランプが点灯する中心で止めて下さい。



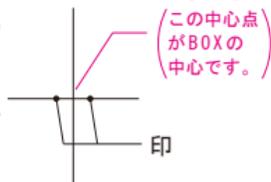
(切り込み線のけ書き)

④次に、探知器をその位置より右へ移動し、**上下のランプが消えた位置で止め**、け書きポイントより印を付けて下さい。

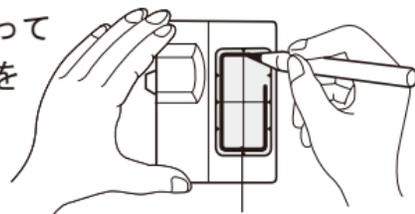
⑤今度は、左へ移動し、**上下ランプが消えた位置で止め**、印を付けて下さい。



⑥左右2ヶ所についた印の中心をけ書きだして下さい。**(中心点)**



⑦探知器ゲージのセンター表示をそのけ書き線に合わせ、ゲージに沿って切り込み線をけ書いて下さい。

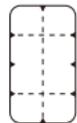


ボックス形状のけ書き線

センター表示の見方



ボックス
センター表示

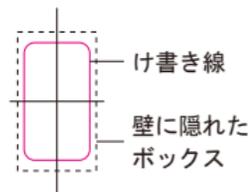


ホルソー
センター表示

※ボックスの穴あけにはデンコーホルソー(別売: DH-63)が便利です。



⑧これで壁に隠れたスライドボックスの正確な位置が割り出せます。



■ 軽量形鋼、鉄骨構造箇所での使用方法

当社のボックス発見用磁石(アッター)をボックスに取付けて、ご使用下さい。

当社スライドボックス+ポイントアッター



ポイントアッター

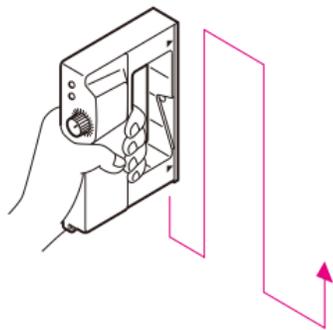
当社スタット付ボックス
+アッター



アッター
(NBS-2)

- ①アッターは、磁気が1箇所ですから、探知器センサーの**上又は下のどちらか一方**で探知して下さい。
- ②探知器を探知壁面の方向に向け、使用方法（準備）に従ってダイヤルをセットして下さい。
- ③ランプが消えたら、消えた位置より**4目盛多く**回して止めて下さい。

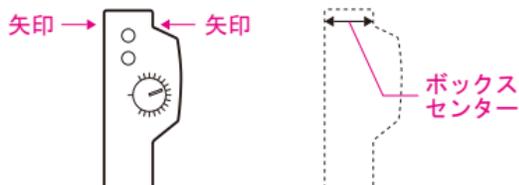
- ④ 先ず、探知器で壁面を探索し、大まかなボックス位置を把握して下さい。



- ⑤ 次に探知器を真直ぐにし上下、左右に動かしランプが点灯する中心で止めて下さい。

- ⑥ 探知器センサー部、左右の矢印箇所に印を付け、その点の中心をだします。

(その中心がボックス(磁石)のセンターです。)



安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しくご使用下さい。



誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意です。

「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

注意

- 電池を火中に投入しないで下さい。
※破裂したり有害物質の出る恐れがあります。
- 誤動作すると、誤開孔の原因となります。下記事項にご注意下さい。
 - ・周囲温度が0℃～40℃の間でご使用下さい。
 - ※使用温度外では正しい動作をしない場合があります。
 - ・電池容量をお調べ下さい。
※電池切れのものは、誤動作、液もれによる故障の原因になります。
 - ・雨のあたる場所では使用しないで下さい。
※水濡れは故障の原因になります。
 - ・本体を分解したり、改造したりしないで下さい。
※誤動作、故障の原因になります。(修理はお買い求めの販売店に依頼して下さい。)
 - ・高温場所に放置しないで下さい。
※温度が50℃以上になるような場所(夏季の車内等)に放置したり、保管しないで下さい。内部構造に悪影響をあたえ、故障の原因になります。
- 落としたり、衝撃を与えた場合は故障の恐れがあります。正常に作動するか確認してからご使用下さい。